

## アジアの安定性への未監視で不透明な軍事的脅威

トランスペアレンシー・インターナショナルは、アジア・太平洋地域における軍事力に監査・監視機能が働いてないことが地域の安定性への脅威であると警告します。

トランスペアレンシー・インターナショナルからの新しい政府防衛指標によると、いくつかのアジアの軍事力は、地域の安定性に脅威となる高い汚職のリスクがあります。

17カ国のうち6カ国では、防衛汚職の“極めて高い”もしくは“重要な”リスクを表している指標のEもしくはFのグレードで評価されています。日本の防衛省には透明性があり、国会や会計検査院、メディアなどによる効果的な監視が行われているとして上位グループであるBの評価を受けています。

トランスペアレンシー・インターナショナルの防衛と安全保障のプログラム・ディレクターであるキャサリン・ディクソンは述べています：

“日本の安全保障法が最近改正されたことを見ても、政府は、自衛隊は積極的に国際的な和平と安全保障に貢献していることを、批判的な人々にも納得させる必要があります。

“健全さと高レベルの説明責任そして情報開示などの透明性が日本の防衛省・自衛隊にあると示すことは、そのための重要な手段なのです。”

この報告書で調査されている17カ国では、2014年には軍事支出において約4,327億ドル、もしくは、地球上の軍事支出の25%が費やされているという、世界において最も急速に拡大する防衛予算のいくつかは地域には存在しています。

しかし、この支出の大部分は、非常に高度な機密状況にあります。本質的に軍事エリートが会計を握っている防衛予算の監視は、しばしば最小限なものになっています。

ディクソンは付け加えます：

“アジアは、世界における最も急速に拡大する防衛予算のいくつかの発源地でもあります。しかし問題となるのは単なる防衛支出の規模ではありません。問題は、誰がこの新興の軍事力を預かっているのか、ということなのです”

“防衛における機密的な意志決定は、疑惑と地域の緊張を創出します。高度に人口が密集した地域では、重なり合う領域の主張と拡大する防衛予算とともに、安定性は、市民へのアカウントビリティと基本的なトランスペアレンシーに基づいて、軍事力が統制される方法の明確な基準の確立にかかっているのです。”

“これが21世紀において責任ある権力であることが意味すべきことなのです。”

地域間にまたがって、ニュージーランド、オーストラリア、台湾、日本そしてシンガポールは、軍事支出と政策にかかわる強固な体制管理とともに指標のトップにきています。政府が、防衛汚職に対して、力強い開かれた立場をとっている韓国でもまた、スコアは地域の平均よりも上にきています。

対照的に、中国は世界の最も機密的な支出の約30%を占めています。理論的には、防衛政策は、全国人民代表大会によって監督されていますが、米国議会は、中国の軍事能力と防衛予算についてより多くの情報を受け取っています。

<<<EMBARGOED UNTIL 00.01 (GMT)

4<sup>th</sup> NOVEMBER 2015>>>

シンガポールは、マレーシア、フィリピン、そしてインドネシアとの強い絆をもとに、ASEAN のリーダーとして台頭しています。しかし顕著なギャップもあります。いくつかの ASEAN 各国では、軍部の立場での行為は、組織が公言する価値観とは完全に対照的になっています。ミャンマーでは、軍部による権力の乱用が政府の正当性の喪失につながり市民社会の不安を煽ることになりました。

結果:

国名	リスク等級付け
ニュージーランド	A
オーストラリア	B
台湾	B
日本	B
シンガポール	B
韓国	C
インド	D
マレーシア	D
フィリピン	D
インドネシア	D
バングラデシュ	D
中国	E
タイ	E
パキスタン	E
スリランカ	E
カンボジア	F
ミャンマー	F

連絡先:

ドミニク・カバケブ

コミュニケーション・マネージャー

E: dominic.kavakeb@transparency.org.uk

T: +44 (0)20 3096 7695

M: +44 (0)79 6456 0340 (時間外のお問い合わせ)

編集者への脚注:

国防における汚職防止指標の国際比較（略称 GI、邦訳 国防指標）は、防衛と安全保障機関における汚職リスク管理のための制度上及び非公式な仕組みの存在と効果を比較評価しています。トランスパアレンシー・インターナショナルの専門家チームは、防衛機関の健全さの詳細な評価を政府に提供するため、77 の指標にわたって、広範囲の様々な情報源とインタビューから協働して物証を集めています。

2015年のアジア-太平洋報告書では、このデータから派生した国家リスクランキングを発表し、地域にわたる傾向を調査しています。

報告書は、2015年10月29日に発表された中東と北米リポートから続きます。

2015年の指標に基づく次の報告書では、アフリカ、NATO、G20、そして特にリスクの高い国家に関して発表されます。